

令和7年度 介護労働実態調査結果 都道府県版

1

北海道支部

■事業所における介護労働実態調査■

介護サービスを実施する全国8,955事業所（北海道 402 事業所）における状況

は全国の数値、 は 北海道 の数値

<記載上の注意>

※1 回答のうち「その他」及び「無回答」、サービス系型及び職種のうち「その他」のデータは省略

※2 平均値を計算しているデータは有効回答数の平均値

※3 「*」印がある数値はサンプル数(回答数)が少ないため(50未満)、参考値の位置付け

※4 数値の太字は最も多い回答(全国と都道府県のみ表示。全国内訳の左記表示は無し)

※5 見出しの後の「問●●」は、調査票における問番号

※6 職種表記のうち「PT・OT・ST等」は、PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等の機能訓練指導員

1 回答事業所の基本情報

(1) 法人格(経営主体) 問1

◆ 全国では「民間企業」が61.3%で最も多い

	回答事業所数	民間企業	社会福祉協議会	左記以外の社会福祉法人	医療法人	NPO (特定非営利活動法人)	社団法人・財団法人	協同組合(農協・生協)	(市区町村、広域連合を含む)
北海道	402	56.0	4.7	17.4	9.2	3.0	4.2	0.2	3.0
全国	8,955	61.3	3.6	15.1	9.8	3.4	2.3	1.2	0.7
訪問系	2,740	73.1	3.5	3.8	7.3	3.5	3.6	1.5	0.7
施設系(入所型)	1,137	6.4	2.6	64.5	21.2	0.3	1.8	0.4	2.2
施設系(通所型)	2,383	70.8	4.4	8.1	7.7	3.7	1.7	1.4	0.3
居住系	967	64.2	1.1	15.5	10.3	5.2	1.0	0.3	0.0
居宅介護支援	866	70.9	6.4	5.9	7.3	3.9	2.0	1.2	0.5

(2) 事業所従業員数 問6①

◆ 全国では「10～19人」が33.1%で最も多い

	回答事業所数	4人以下	5～9人以下	10～19人以下	20～49人以下	50～99人以下	100人以上
北海道	400	8.8	19.5	31.8	30.3	7.0	1.5
全国	8,899	10.2	17.5	33.1	27.3	8.4	2.2
訪問系	2,722	4.3	24.2	36.8	28.5	3.8	0.8
施設系(入所型)	1,137	2.5	4.2	9.6	28.4	42.5	12.1
施設系(通所型)	2,383	5.8	20.8	43.9	25.5	2.5	0.7
居住系	967	1.7	6.4	38.5	45.5	5.8	1.0
居宅介護支援	866	64.2	18.1	10.7	5.1	0.8	0.1

(3) 訪問介護員・介護職員の従業員数及び高齢者比率 問7①

◆ 全国の65歳以上の労働者割合は、訪問介護員は22.3%、介護職員は11.7%

	訪問介護員				介護職員			
	回答事業所数	従業員数	65歳以上の労働者数	65歳以上の労働者割合	回答事業所数	従業員数	65歳以上の労働者数	65歳以上の労働者割合
北海道	127	1,505	273	18.1	229	4,073	421	10.3
全国	2,951	38,259	8,524	22.3	5,350	88,294	10,297	11.7

(4) 実施している介護サービスのうち、主とするサービスの種類 問4

◆ 全国では、「訪問介護」が19.7%で最も多い

(単位:件、%)																
	回答事業所数	訪問介護	通所介護	地域密着型通所介護	居宅介護支援	訪問看護	認知症対応型共同生活介護	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	特定施設入居者生活介護	小規模多機能型居宅介護	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	通所リハビリテーション	短期入所生活介護	認知症対応型通所介護	訪問入浴介護
北海道	402	76	29	38	32	33	59	35	14	10	9	3	2	2	2	0
	100.0	18.9	7.2	9.5	8.0	8.2	14.7	8.7	3.5	2.5	2.2	0.7	0.5	0.5	0.5	0.0
全国	8,955	1,766	1,128	995	842	819	652	605	258	247	211	117	103	102	73	68
	100.0	19.7	12.6	11.1	9.4	9.1	7.3	6.8	2.9	2.8	2.4	1.3	1.2	1.1	0.8	0.8

(注) 調査対象介護サービスのうち、全国での回答事業所数が上位のものを掲載。

2 人材の確保・定着の状況

(1) 採用率、離職率、増減率 問7①③

※1年間:(令和6年10月1日から令和7年9月30日まで)

◆全国での2職種計(訪問介護員・介護職員)の採用率は14.6%、離職率は12.4%

		< 北海道 > (単位:件、%)				< 全国 > (単位:件、%)			
		回答事業所数 (注1)	①採用率 (注2)	②離職率 (注2)	③増減率 ①-②	回答事業所数 (注1)	①採用率 (注2)	②離職率 (注2)	③増減率 ①-②
職種別	2職種計(訪問介護員・介護職員)	323	13.8	12.5	+1.3	7,246	14.6	12.4	+2.2
	訪問介護員	127	12.8	11.7	+1.1	2,956	14.5	11.6	+2.9
	介護職員	228	14.1	12.8	+1.4	5,344	14.7	12.7	+2.0
	サービス提供責任者	152	15.1	8.9	+6.2	3,463	8.0	7.8	0.2
	生活相談員	129	9.5	7.9	+1.7	3,383	8.8	7.8	+1.0
	看護職員	197	23.5	16.8	+6.7	4,672	20.8	14.6	+6.2
	PT・OT・ST等	82	17.8	12.8	+5.0	2,189	13.8	9.0	+4.8
	介護支援専門員	193	11.7	7.7	+4.0	3,764	12.4	9.5	+2.8

(注1) 2職種計の回答事業所数については、訪問介護員、介護職員の両者に回答があっても一つの事業所数とカウントするので、職種別の項目の合計と一致しない。

(注2) 採用率、離職率等の計算式は、18ページ「1 調査で使用された主な用語の定義」の(4)を参照。

(2) 従業員の過不足状況 問8

◆全国では、全体でみた場合で不足とする事業所(「大いに不足」+「不足」+「やや不足」の合計)は約3分の2

		< 北海道 > (単位:件、%)							< 全国 > (単位:件、%)						
		当該事業所数 のいる	①大いに不足	②不足	③やや不足	④適当	⑤過剰	不足感 (①+②+③)	当該事業所数 のいる	①大いに不足	②不足	③やや不足	④適当	⑤過剰	不足感 (①+②+③)
全体でみた場合		352	10.5	22.7	34.1	31.3	1.4	67.3	8,069	11.1	20.9	33.8	33.7	0.5	65.8
訪問介護員		126	28.6	25.4	28.6	15.9	1.6	82.6	2,869	29.8	28.8	24.3	16.7	0.5	82.9
介護職員		235	16.2	23.0	36.2	23.4	1.3	75.4	5,282	13.9	22.3	33.6	29.0	1.1	69.8
サービス提供責任者		143	2.8	10.5	11.9	74.8	0.0	25.2	3,247	6.1	10.2	14.4	68.4	1.0	30.7
生活相談員		137	3.6	10.2	10.9	74.5	0.7	24.7	3,622	2.9	7.5	15.8	72.9	0.9	26.2
看護職員		205	7.8	8.3	23.4	58.5	2.0	39.5	4,907	6.8	12.2	25.8	52.9	2.3	44.8
PT・OT・ST等		98	5.1	14.3	22.4	57.1	1.0	41.8	2,577	6.0	10.4	23.3	59.1	1.2	39.7
介護支援専門員		190	6.3	9.5	20.0	63.2	1.1	35.8	3,983	6.5	11.9	18.6	62.0	1.0	37.0

(3) 採用した従業員の人数や質の評価 問9

◆全国では、「人数・質ともに確保できている」は15.8%

		(単位:件、%)					
		回答事業所数	人数・質ともに確保できている	人数には満足しているが、質には満足できていない	人数には満足だが、質には確保できていない	人数・質ともに確保できていない	職員は過去1年間、採用していない
北海道		400	16.3	20.0	22.0	26.8	13.5
全国		8,899	15.8	17.9	22.2	24.6	17.9
訪問系		2,722	14.4	13.8	29.2	23.8	17.2
施設系(入所型)		1,137	10.2	24.7	19.1	39.1	6.1
施設系(通所型)		2,383	20.8	19.7	19.4	20.4	18.2
居住系		967	11.2	23.4	21.1	35.0	8.4
居宅介護支援		866	21.4	8.7	11.2	7.9	48.3

(4) 従業員の定着状況 問10

◆全国では、「定着率は低くない」は73.1%

		(単位:件、%)			
		回答事業所数	定着率が低く困っている	定着率は低い困っていない	定着率は低くない
北海道		400	21.0	7.3	71.3
全国		8,899	18.7	6.7	73.1
訪問系		2,722	18.5	6.0	74.4
施設系(入所型)		1,137	27.7	6.2	64.8
施設系(通所型)		2,383	16.1	7.2	75.9
居住系		967	23.7	7.7	67.8
居宅介護支援		866	7.7	7.3	79.2

3 採用活動の実施状況

(1) 採用活動

① 行っているもの〔複数回答〕 問11①

◆全国では、「職員に対して友人・知人などの紹介を依頼」が66.0%で最も多い

② 採用に効果があったもの〔複数回答〕 問11②

◆全国では、「有料職業紹介所を活用」の53.4%で最も高い

(単位:件、%)

	回答事業所数	タハローワークや福祉人材セン	有料職業紹介所を活用	職員に対して友人・知人などの紹介を依頼	過去の離職者に再雇用を打診へ	民間の有料求人情報サイトを活用	事業所ホームページで求職者へ発信	SNS(注)を活用して求職者へ発信	職場体験、職場実習の受け入れ	就職セミナー、採用説明会に参加	特に行っていない
① 行っているもの											
北海道	400	69.3	36.5	68.3	20.3	33.5	35.0	15.3	23.3	23.3	9.5
全国	8,899	64.8	37.9	66.0	18.2	36.3	36.8	16.3	24.7	22.3	11.7
訪問系	2,722	61.4	40.1	69.9	17.3	38.9	37.5	17.2	19.5	17.7	8.3
施設系(入所型)	1,137	82.5	55.8	81.0	28.1	41.9	54.4	24.2	53.7	53.0	3.2
施設系(通所型)	2,383	67.2	33.9	61.6	16.2	37.1	31.7	15.5	20.7	16.3	9.9
居住系	967	74.8	44.7	75.6	25.2	42.9	42.4	16.2	29.0	29.4	4.2
居宅介護支援	866	32.8	11.7	33.3	6.2	14.1	16.4	3.9	9.6	4.6	49.5
② 採用に効果があったもの 「行っている」事業所における「採用に効果があった」とする事業所の割合											
北海道	358	47.7	62.3	51.6	35.8	40.3	31.4	24.6	21.5	28.0	
全国	7,765	41.8	53.4	47.3	35.2	44.8	24.4	27.6	23.6	26.4	
訪問系	2,470	32.6	51.1	45.7	30.1	43.1	23.4	27.8	26.9	28.7	
施設系(入所型)	1,095	48.7	66.2	51.4	36.4	38.4	27.9	25.8	24.9	26.0	
施設系(通所型)	2,129	48.6	48.9	46.2	37.7	49.4	24.4	29.8	19.7	27.1	
居住系	920	42.5	55.8	47.3	38.1	47.0	23.9	25.5	22.1	24.3	
居宅介護支援	419	37.7	41.6	50.7	35.2	45.9	29.6	47.1	27.7	17.5	

(注) SNS: LINE、X(旧Twitter)、Facebook、Instagram、YouTubeなど

4 スポットワークの活用状況

(1) 過去1年間のスポットワークの利用の有無 問12①

◆全国では、「ある」が8.9%

(単位:件、%)

	回答事業所数	ある	ない
北海道	400	9.3	90.0
全国	8,899	8.9	90.5
訪問系	2,722	6.5	92.8
施設系(入所型)	1,137	10.2	89.4
施設系(通所型)	2,383	10.4	89.2
居住系	967	13.5	85.6
居宅介護支援	866	4.2	94.5

(2) スポットワークで雇用した人の正社員等への雇用の有無 問12⑤

◆全国では、「ある」はスポットワークの利用がある事業所の28.0%

(単位:件、%)

	回答事業所数	ある	ない
北海道	*37	*16.2	*78.4
全国	789	28.0	68.9
訪問系	178	27.0	69.7
施設系(入所型)	116	35.3	62.9
施設系(通所型)	249	27.7	68.3
居住系	131	29.8	67.9
居宅介護支援	*36	*13.9	*83.3

5 雇用管理の取り組み

(1) 従業員の採用や職場定着・離職防止のための方策

① 行っているもの〔複数回答〕 問13①

◆ 全国では、「有給休暇等の各種休暇の取得や勤務日時の変更をしやすい職場づくり」が75.4%で最も多い

② 採用に効果があったもの〔複数回答〕 問13②

◆ 全国では、「賃金水準の向上」が38.4%で最も高い

③ 職場定着に効果があったもの〔複数回答〕 問13③

◆ 全国では、「有給休暇等の各種休暇の取得や勤務日時の変更をしやすい職場づくり」が57.9%で最も高い

(単位:件、%)

	回答事業所数	賃金水準の向上	時間外労働の削減	有給休暇等の各種休暇の取得や勤務日時の変更をしやすい職場づくり	本人の希望や人間関係などに配慮した配置・異動	介護の質の向上（注）を図るための価値観や行動基準の共有	現場の裁量による創意工夫を尊重するマネジメント	人間関係が良好な職場づくり	職場内での仕事上のコミュニケーションの円滑化（面談、ミーティング、意見交換会など）	仕事外での職員間の交流の機会の設定	悩み、不満、不安などを上司以外に相談できる担当者・相談窓口の設置	事業所の設備・環境を働きやすいものに改善	介護テクノロジー（ロボット・ＩＣＴ機器等）の導入、業務改善等による業務負担の軽減	健康対策や健康管理の充実	仕事と育児や介護の両立支援	託児所設置や保育費用支援等	利用者やその家族からのカスタマーハラスメントから守る取り組み	事業所内でのキャリアアップの道筋の明確化	能力や仕事ぶりを処遇に反映	事業所内外で研修機会の充実	地域活動への事業所としての参加	特に方策はとっていない
① 行っているもの																						
北海道	400	61.5	55.3	77.3	54.5	52.5	40.8	73.5	70.5	24.5	43.0	41.3	30.8	41.5	54.5	5.3	36.3	36.5	47.0	56.8	25.5	5.0
全国	8,899	61.4	58.7	75.4	56.5	53.1	43.1	74.2	70.6	30.1	49.3	47.0	32.5	45.7	58.9	6.9	40.8	38.7	51.1	55.9	26.0	5.7
訪問系	2,722	65.1	58.6	78.1	59.0	56.2	43.9	80.3	74.9	33.7	54.2	48.4	30.4	49.4	59.7	6.5	47.8	39.2	52.8	57.3	17.9	3.0
施設系（入所型）	1,137	71.7	61.2	80.5	68.1	53.3	41.7	68.2	72.3	29.5	57.1	52.3	62.5	50.3	72.6	14.4	43.1	43.0	53.7	69.2	40.6	1.4
施設系（通所型）	2,383	64.1	65.0	76.5	54.4	56.3	47.7	77.4	71.6	31.4	48.6	47.7	24.2	44.9	60.9	5.7	38.4	40.0	55.4	52.1	25.7	3.7
居住系	967	59.0	60.5	79.3	65.8	55.3	43.8	74.1	75.4	23.5	49.3	47.6	38.8	45.8	57.2	5.8	36.1	45.2	55.3	58.8	34.6	2.0
居宅介護支援	866	35.3	37.1	51.7	26.3	31.6	27.4	49.9	47.9	21.7	25.9	32.8	18.4	30.7	32.9	2.5	25.3	17.1	27.3	38.6	17.6	30.9
② 採用に効果があったもの 「行っている」事業所における「採用に効果があった」とする事業所の割合																						
北海道	376	37.4	24.0	33.3	23.4	15.7	15.3	26.9	14.9	18.4	12.8	20.0	20.3	13.9	22.9	14.3	11.0	17.1	12.8	10.1	5.9	
全国	8,268	38.4	22.7	28.6	20.3	12.5	10.8	22.4	14.0	12.5	11.6	15.8	16.9	11.5	23.5	23.4	8.3	16.2	13.6	12.0	9.2	
訪問系	2,609	37.8	23.1	29.5	21.7	12.7	11.2	23.1	16.2	13.5	12.6	16.6	17.9	12.4	24.8	15.3	10.1	16.8	15.6	12.9	9.2	
施設系（入所型）	1,116	45.8	24.0	28.5	16.8	12.0	8.2	20.4	10.9	10.1	9.9	15.6	19.5	9.4	22.2	34.1	4.1	17.6	12.4	14.1	10.4	
施設系（通所型）	2,276	37.6	21.6	28.9	21.5	12.5	11.3	22.6	13.1	13.1	11.1	15.1	13.0	11.7	25.1	24.4	8.2	15.4	12.4	10.4	10.4	
居住系	938	38.5	18.8	26.1	19.0	12.1	9.7	20.8	12.8	8.4	10.3	14.6	15.5	10.6	20.4	17.9	6.3	16.7	12.3	12.0	8.1	
居宅介護支援	557	36.3	29.6	31.7	23.7	14.6	13.9	24.8	16.6	13.8	15.2	21.1	24.5	14.7	25.6	13.6	14.2	17.6	19.1	12.0	8.6	
③ 職場定着に効果があったもの 「行っている」事業所における「職場定着に効果があった」とする事業所の割合																						
北海道	376	50.8	41.6	57.3	48.2	35.7	34.4	58.5	47.5	53.1	40.7	38.8	35.8	36.7	52.8	33.3	34.5	35.6	46.8	29.1	18.6	
全国	8,268	51.6	44.1	57.9	51.6	30.5	34.1	54.6	45.7	40.1	37.7	37.4	33.9	30.2	51.0	37.4	27.4	31.0	40.0	27.4	14.8	
訪問系	2,609	52.7	42.4	57.6	49.3	31.1	33.2	54.7	47.5	42.1	39.1	36.4	35.4	32.2	50.1	35.6	30.7	32.0	42.2	28.3	13.3	
施設系（入所型）	1,116	55.5	41.7	57.5	56.2	27.2	30.2	50.4	40.3	36.4	33.1	37.1	35.0	23.8	52.5	47.6	20.6	30.1	36.3	26.0	11.5	
施設系（通所型）	2,276	49.9	45.9	59.3	52.5	31.8	35.8	57.1	45.5	42.1	39.2	39.2	30.2	31.0	52.2	39.3	25.9	31.6	40.7	26.7	17.8	
居住系	938	49.2	42.4	57.5	53.9	26.5	32.5	53.6	45.4	33.5	36.7	33.9	31.2	28.0	51.5	30.4	26.1	31.6	36.1	26.7	17.6	
居宅介護支援	557	56.9	52.6	61.6	49.1	40.1	44.7	58.8	51.8	47.3	44.6	46.1	45.9	41.0	53.0	18.2	37.9	37.8	50.0	37.4	15.1	

(注)「介護の質の向上」とは、利用者に対して、尊厳確保・虐待防止、QOL確保、自立支援に対する配慮等、質の高い介護サービスを提供することによって、その満足度を高めることをいう。

(2) 雇用管理責任者の選任の有無 問14②

◆ 全国では、「選任している」が28.2%

(単位:件、%)

	回答事業所数	選任している	選任していない
北海道	400	28.3	67.0
全国	8,899	28.2	67.9
訪問系	2,722	23.4	72.9
施設系（入所型）	1,137	44.9	52.2
施設系（通所型）	2,383	27.9	68.6
居住系	967	29.9	65.9
居宅介護支援	866	19.9	76.4

(3) 仕事と育児・介護の両立支援を進める上での課題〔複数回答〕 問16

◆ 全国では、「代替要員の確保や配置が難しい」が50.4%で最も多い

(単位:件、%)

	回答事業所数	労働時間管理や人材配置が難しい	休業や短時間勤務をする職員の人事評価が難しい	代替要員の確保や配置が難しい	人員不足のため、制度利用に関する希望の実現が難しい	制度利用者以外の他の職員の業務負担が大きくなる	両立支援の利用に関して周囲の職員の理解が得られない	両立支援制度の利用中は仕事よりも私生活が優先されることが多い	両立の難しいから、離職や非正規転換を考える人がいる	特に課題はない
北海道	400	31.8	8.0	48.0	20.3	33.0	3.3	15.0	12.5	26.8
全国	8,899	37.6	9.8	50.4	19.9	34.5	3.8	13.3	12.0	23.8
訪問系	2,722	36.5	9.9	49.4	21.9	32.8	2.6	13.7	11.6	22.4
施設系(入所型)	1,137	45.9	12.2	64.6	19.0	52.0	6.2	19.3	18.6	11.6
施設系(通所型)	2,383	39.9	10.3	52.7	21.0	35.2	4.2	12.6	11.2	22.2
居住系	967	45.7	9.8	57.4	23.6	38.1	4.4	15.3	15.8	17.9
居宅介護支援	866	14.0	4.3	22.7	8.0	13.4	1.3	4.3	4.6	57.5

(4) 事業を運営する上での課題〔複数回答〕 問19

◆ 全国では、「現行の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない・賃上げができない」が61.8%で最も多い

(単位:件、%)

	回答事業所数	現行の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない・賃上げができない	経営(収支)が苦しく、労働条件や労働環境改善が出来ない	良質な人材の確保が難しい	新規利用者の確保が難しい	介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している	介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある	管理者の指導・管理能力が不足している	教育・研修の時間が十分に取れない	介護従事者間のコミュニケーションが不足している	経営者・管理者と介護従事者間のコミュニケーションが不足している	利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している	介護保険の制度改革等についての的確な情報や説明が得られない	指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている	雇用管理等についての情報や指導が不足している	特に問題はない
北海道	400	62.3	43.0	58.8	29.5	24.3	20.0	18.3	39.0	12.8	18.3	12.0	9.5	45.0	11.8	6.5
全国	8,899	61.8	39.5	60.4	33.7	23.3	19.0	18.4	39.3	14.7	16.3	13.2	9.1	47.5	11.9	6.1
訪問系	2,722	59.0	35.6	61.6	31.9	18.2	14.7	15.6	35.6	11.9	12.3	13.8	9.1	47.0	10.8	6.7
施設系(入所型)	1,137	68.2	49.3	76.2	44.3	36.9	32.9	27.9	49.9	30.3	27.7	15.7	10.6	48.5	14.8	1.5
施設系(通所型)	2,383	65.8	44.2	55.8	35.4	22.6	18.8	18.5	42.1	13.2	16.9	12.0	9.7	51.1	11.4	5.8
居住系	967	61.9	36.5	70.3	34.9	38.3	27.6	23.7	47.2	17.9	21.3	11.0	8.9	42.5	14.4	2.7
居宅介護支援	866	53.9	32.2	35.7	18.4	5.1	7.0	8.3	21.5	3.6	7.4	12.2	7.3	49.1	9.6	15.5

6 介護テクノロジー(ロボット、ICT機器等)

(1)介護テクノロジー(ロボット、ICT機器等)の導入・利用状況(日常的に利用しているもの) 問17①

◆ 全国では、「利用者情報(ケア記録・ケアプラン等)の入力・保存・転記の機能」を日常的に利用している比率が72.2%で最も高い

(単位:件、%)

	回答事業所数	パソコンによって利用する介護ソフト						介護業務用のアプリが入ったタブレット端末・スマートフォン			施設の居室内に設置する見守りセンサー			その他のICT機器等		
		の利用者情報(ケア記録・ケアプラン等)の入力・保存・転記の機能	職員間で報告・連絡・相談を行うためのツール・ウェアの機能	シフト管理・勤怠管理・給与計算・配車管理等の機能	入力した音声(テキスト)を変換する機能	各種の介護ロボットとの間のデータの収集・蓄積・利用の一元処理機能	その他の機能	の利用者情報(ケア記録・ケアプラン等)の入力・保存・転記の機能	入力した音声(テキスト)を変換する機能	他の職員との間で業務連絡できる機能	ベッドセンサー(マット型・内蔵型)	カメラ型センサー(モニターカメラ)	それ以外のセンサー(天井・壁・机上・床・ドア・便器等に設置するカメラ型・外のもの)	施設内の無線ナースコール機器	インカム、ネックスピーカー	施設内のICT機器同士の通信のためのWiFi設備
北海道	400	67.3	38.0	45.5	10.0	6.3	17.3	50.0	12.0	33.8	25.0	9.8	14.8	27.0	7.0	51.8
全国	8,899	72.2	41.1	47.4	13.2	4.7	19.7	53.7	16.0	38.6	19.4	9.1	10.6	23.8	6.0	53.9
訪問系	2,722	74.7	51.4	57.0	14.6	3.1	19.3	60.4	18.8	52.8	7.1	4.6	4.0	13.5	3.0	46.7
施設系(入所型)	1,137	83.2	47.1	53.8	12.9	13.5	28.8	58.7	14.6	34.8	66.7	23.0	24.4	48.5	18.4	69.5
施設系(通所型)	2,383	67.4	32.3	38.9	8.5	2.5	20.3	46.8	10.5	28.4	8.0	8.1	7.1	25.5	4.4	57.2
居住系	967	64.0	31.6	43.7	13.7	5.7	17.5	52.9	17.3	31.4	41.4	15.3	29.3	37.5	8.6	58.0
居宅介護支援	866	74.0	35.2	37.5	18.9	3.3	15.6	46.8	21.4	35.3	1.2	0.9	0.8	0.9	1.4	43.5

	回答事業所数	その他の介護テクノロジー								
		移動支援(マツスルスライツなど)	利用者の移動を支援する介護テクノロジー	排泄を支援する介護テクノロジー	利用者との間で双方向コミュニケーションをとる介護テクノロジー	利用者に設置し、利用者の転倒等の異常を感知した際に自動的に通報する介護テクノロジー	入浴を支援する介護テクノロジー	身体機能や生活機能の訓練における各業務を支援する機器・システム	食事・栄養管理に関する周辺業務を支援する機器・システム	認知機能が低下した高齢者等の自立した日常生活または個別ケアを支援する機器・システム
北海道	400	2.3	1.8	0.3	0.3	1.0	3.8	1.8	4.5	0.5
全国	8,899	1.9	2.2	0.5	1.0	1.5	6.7	2.9	3.3	1.0
訪問系	2,722	0.9	1.1	0.1	1.1	1.0	2.4	0.5	0.6	0.3
施設系(入所型)	1,137	9.1	8.8	1.9	1.6	4.3	19.7	5.2	17.3	2.1
施設系(通所型)	2,383	0.7	0.9	0.3	0.5	0.6	6.2	6.0	1.3	1.4
居住系	967	1.4	2.3	0.7	0.8	2.5	9.7	1.9	3.0	1.4
居宅介護支援	866	0.1	0.0	0.0	1.4	0.3	0.2	0.3	0.3	0.2

(注) 回答は問17①で「日常的に利用している」と回答した事業所の割合

(2) 介護テクノロジー(ロボット、ICT機器等)の導入効果 問17②

◆ 全国では、「昼間の業務負担の軽減」が53.8%で最も高い。

(単位:件、%)

	回答事業所数	昼間の業務負担の軽減	夜間の業務負担の軽減	勤務時間の短縮(残業など)	業務の活性化	介護の質の向上
北海道	400	55.5	53.2	39.8	41.0	42.0
全国	8,899	53.8	47.2	42.7	43.3	40.1
訪問系	2,722	48.6	39.9	42.3	42.5	36.5
施設系(入所型)	1,137	76.8	74.2	51.6	53.3	58.4
施設系(通所型)	2,383	51.0	34.5	40.8	41.4	38.3
居住系	967	60.1	62.5	43.6	46.4	44.8
居宅介護支援	866	46.0	27.5	40.4	38.4	28.6

(注1) 値は、「効果があった」「やや効果があった」の割合の合計。

(注2) 導入しているものが一つもない場合は、導入したとした場合に予想される効果を回答。

(注3) 「夜間の業務負担の軽減」は、全回答者から「夜間業務がない」を差し引いた値を元に集計。

7 外国籍労働者

(1) 外国籍労働者の受け入れ状況〔複数回答〕 問20①

◆ 全国では「いずれも受け入れていない」が78.7%

(単位:件、%)

	回答事業所数	(在留資格「介護」 (法人で直接受け入れ)	(在留資格「介護」 (他法人からの転職))	EPA(経済連携協定) (法人で直接受け入れ)	EPA(経済連携協定) (他法人からの転職))	(在留資格「特定技能1号」 (法人で直接受け入れ))	(在留資格「特定技能1号」 (他法人からの転職))	技能実習生	留学生	介護の仕事をする外国籍労働者として左記 のいずれも受け入れていない
北海道	400	5.8	0.5	0.3	0.0	8.3	0.5	6.8	0.8	78.3
全国	8,899	8.1	1.6	0.8	0.1	7.9	2.0	5.0	1.6	78.7

(2) 外国籍労働者の今後の受け入れの考え 問20②③

① 現在受け入れている事業所

◆ 全国では、「今後、受け入れを積極的に拡大していきたい」は26.4%

(単位:件、%)

	回答事業所数	今後、新たな受け入れはしない予定	現在の外国籍労働者数の水準を補充する程度の受け入れをする	今後、積極的に受け入れを拡大していきたい
北海道	70	18.6	41.4	30.0
全国	1,659	14.8	47.5	26.4

② 現在受け入れていない事業所

◆ 全国では、「今後、受け入れを検討してみたい」は27.7%

(単位:件、%)

	回答事業所数	今後、受け入れを検討してみたい	受け入れたいが、どういう手続きを進めれば受け入れられるかわからない	今後、受け入れようとは思わない
北海道	313	61.0	4.8	28.4
全国	7,002	61.9	5.6	27.7

(3) 外国籍労働者受け入れの課題 問21

◆ 全国では、「利用者や他の従業員との意思疎通(日本語能力及びコミュニケーション)が難しい」が49.1%で最も高い

(単位:件、%)

	回答事業所数	外国籍労働者の人材確保(自事業所とのマッチング)が困難	受け入れの仕組みが煩雑	受け入れのためのコストが高い	受け入れのための住宅や寮などを確保することが困難	受け入れ後の生活支援の仕方がわからない	受け入れ後の生活の管理や支援が難しい	利用者や他の従業員との意思疎通(日本語能力及びコミュニケーション)が難しい	受け入れについて他の従業員の理解を得ることが難しい	利用者が外国籍労働者によるサービス提供に抵抗がある	外国籍労働者の仕事上のサポート役負担が大きい	特にな
北海道	400	27.0	29.8	35.8	43.3	25.3	43.0	45.8	11.0	15.8	36.0	15.3
全国	8,899	24.6	28.7	31.7	39.6	23.9	34.1	49.1	11.7	21.8	35.7	15.1
訪問系	2,722	27.9	26.8	22.2	36.9	25.1	31.7	54.3	11.8	33.0	35.6	15.5
施設系(入所型)	1,137	20.1	36.9	53.5	48.2	20.3	42.8	49.5	10.6	10.5	41.0	6.7
施設系(通所型)	2,383	26.8	31.3	35.2	45.4	28.9	36.8	49.0	13.1	20.4	36.3	13.8
居住系	967	18.8	28.2	42.1	39.5	20.6	36.3	50.5	12.2	14.2	38.2	10.8
居宅介護支援	866	23.3	19.2	13.4	23.8	17.8	22.3	34.1	8.7	16.9	26.3	32.8

■介護労働者の就業実態と就業意識調査■

1 回答労働者の基本属性

(1) 性別・年齢・雇用形態・就業形態 問1①②・問16②③

◆全国では、女性の割合は75.7%。また、全国の平均年齢は49.5歳、北海道の平均年齢は48.9歳。

	回答労働者数 (人)	性別(%)		平均年齢 (歳)	雇用形態(%)		就業形態(%)		
		男	女		無期雇用職員	有期雇用職員	フルタイム勤務	短時間勤務で、勤務する 日や時間があらかじめ 定められている	短時間勤務で、勤務する 日や時間が 週又は月ごとに変わる
北海道	982	25.3	73.2	48.9	75.2	21.6	84.1	8.6	6.0
全国	20,675	22.6	75.7	49.5	74.0	23.1	81.8	10.3	6.7
訪問介護員	3,339	16.4	83.0	51.1	67.9	28.5	69.1	17.6	11.9
介護職員	7,519	26.6	72.7	47.8	73.6	23.0	80.9	10.1	7.8
サービス提供責任者	1,739	18.6	80.8	50.5	78.3	19.6	94.2	3.3	1.8
生活相談員	1,155	32.7	66.6	47.2	83.3	14.6	93.9	2.6	2.4
看護職員	2,494	8.3	91.2	48.2	71.7	25.8	77.1	14.8	6.8
PT・OT・ST等	539	58.6	41.0	39.1	87.2	11.9	90.5	5.6	3.7
介護支援専門員	2,678	23.1	76.0	55.1	75.7	22.4	91.0	5.8	2.1

(2) 介護の仕事で働こうと思ったきっかけ 問2①

◆全国では、「身近に介護が必要な人がいた」が27.8%、「身近に介護の仕事をしている人がいた」が26.3%

(単位:人、%)																			
	回答労働者数	SNS、WEB・ネット等の影響	テレビ・ラジオ、新聞・雑誌等の影響	小説、漫画、映画、ドラマの影響	身近に介護が必要な人がいた	身近に介護の仕事をしている人がいた	親・家族に勧められた	学校の先生に勧められた	友人・知人に勧められた	ハローワークの職業相談で勧められた	民間職業紹介所の職業相談で勧められた	介護事業所の経営者等から勧誘された	学校での職業講座	職業体験・インターンシップ	介護関係の職業訓練や講習会の受講	介護関係の専門の学校への入学	介護関係のアルバイト、スポットワークの経験	介護関係のボランティアの経験	その他
北海道	982	1.0	5.0	0.8	22.6	24.9	13.6	5.1	13.0	8.8	2.0	6.1	4.2	4.7	8.2	6.5	1.3	6.0	19.8
全国	20,675	2.2	4.7	1.2	27.8	26.3	13.3	3.6	15.2	7.1	1.5	5.8	2.4	3.2	8.3	6.5	2.2	7.2	19.3
訪問介護員	3,339	2.4	4.6	0.7	32.4	31.1	11.4	2.2	19.6	6.9	1.1	7.1	2.0	2.4	12.1	4.5	2.0	6.6	15.7
介護職員	7,519	2.3	4.1	0.6	30.3	28.3	14.6	4.3	15.6	8.8	1.3	4.9	2.9	4.0	9.5	7.1	2.1	8.2	16.8
サービス提供責任者	1,739	1.8	4.8	0.6	30.5	28.9	11.7	2.4	16.3	7.1	1.2	6.6	2.1	2.6	9.8	5.3	2.8	7.9	16.7
生活相談員	1,155	2.2	4.2	0.6	27.9	24.8	13.1	3.9	14.5	6.6	1.2	6.4	3.3	4.0	6.7	9.8	1.9	8.7	17.4
看護職員	2,494	2.8	5.9	5.3	18.6	23.1	16.7	5.1	12.3	5.5	3.8	4.7	2.5	4.0	1.1	4.4	2.1	3.1	25.4
PT・OT・ST等	539	4.8	4.5	1.5	16.9	21.5	20.2	6.9	11.9	3.9	1.5	7.6	5.8	6.3	1.7	8.5	2.6	3.7	22.3
介護支援専門員	2,678	0.8	6.8	0.7	27.4	20.2	10.0	2.0	12.3	4.7	0.8	6.4	1.1	1.8	9.5	8.7	2.9	9.3	25.9

2 現在の仕事(職種)について

(1) 現在の仕事(職種)を選んだ理由〔複数回答〕 問4

◆全国では、「働きがいのある仕事だと思ったから」が41.7%で最も多い

(単位:人、%)														
	回答労働者数	働きたがいのある仕事だと思ったから	今後もニーズが高まる仕事だから	人や社会の役に立ちたいから	生きがい・社会参加のため	お年寄りが好きだから	身近な人の介護の経験から	身近に介護関係の仕事をしている人がいたから	資格・技能が活かせるから	介護の知識や技能が身につくから	給与等の収入が多いから	自分や家族の都合のよい時間(日)に働けるから	他によい仕事がないため	特に理由はない
北海道	982	38.8	23.0	21.3	7.7	19.2	9.0	14.9	38.2	18.1	6.6	11.5	11.6	4.6
全国	20,675	41.7	23.2	25.5	8.9	18.7	12.8	13.3	37.5	19.7	5.2	13.0	7.9	4.4
訪問介護員	3,339	40.7	22.6	24.1	9.2	17.1	15.5	17.9	32.1	23.6	4.2	20.5	7.1	3.9
介護職員	7,519	36.9	23.6	24.7	7.5	22.9	15.5	16.9	26.7	24.5	2.7	10.9	11.3	5.1
サービス提供責任者	1,739	43.0	23.7	23.6	7.7	16.6	14.4	11.9	35.6	23.9	4.5	9.8	5.9	6.0
生活相談員	1,155	44.3	20.2	28.1	8.3	22.5	10.0	11.7	34.5	19.3	2.9	6.7	6.7	5.6
看護職員	2,494	56.1	26.9	29.6	11.5	17.0	7.1	8.1	57.9	6.7	16.6	15.9	3.8	2.2
PT・OT・ST等	539	51.9	26.0	35.3	7.8	14.3	6.5	9.1	60.7	7.4	6.3	7.6	3.5	2.0
介護支援専門員	2,678	42.9	21.9	26.4	11.9	13.9	9.6	6.0	59.5	15.7	5.4	12.5	7.2	2.8

(2) 現在持っている資格〔複数回答〕 問5

◆ 全国では、「介護福祉士」が60.3%で最も多い

(単位:人、%)															
	回答労働者数	介護福祉士	実務者研修	介護職員初任者研修	介護職員基礎研修	ホームヘルパー1級	ホームヘルパー2級	主任介護支援専門員 (主任ケアマネジャー)	介護支援専門員 (ケアマネジャー)	認定看護師・専門看護師	看護師・准看護師	PT・OT・ST	社会福祉士	精神保健福祉士	左記の資格なし
北海道	982	64.6	19.3	15.4	4.0	2.9	29.6	5.4	20.7	0.3	12.4	2.0	4.0	0.7	3.1
全国	20,675	60.3	18.4	14.9	3.5	3.4	30.5	6.1	20.2	0.2	14.2	2.9	4.0	0.5	3.8
訪問介護員	3,339	65.0	23.8	22.3	2.8	3.5	41.7	0.3	6.1	0.0	1.6	0.1	1.0	0.2	0.3
介護職員	7,519	69.2	25.6	21.6	5.2	2.7	30.4	0.1	6.5	0.0	1.1	0.2	1.9	0.2	5.8
サービス提供責任者	1,739	89.5	26.6	13.9	4.8	6.0	42.0	0.3	11.8	0.1	1.0	0.3	2.4	0.1	1.1
生活相談員	1,155	79.9	21.6	14.5	3.7	2.6	32.9	0.8	13.9	0.0	1.1	0.5	9.4	0.9	6.7
看護職員	2,494	2.5	1.0	0.8	0.3	1.1	3.7	0.1	9.7	1.2	100.0	0.0	0.4	0.1	0.0
PT・OT・ST等	539	3.9	1.9	3.3	0.2	0.6	4.1	0.2	8.5	0.0	0.9	100.0	0.2	0.0	0.0
介護支援専門員	2,678	75.8	6.5	3.7	2.4	6.9	42.3	44.6	100.0	0.1	8.7	0.7	17.0	2.6	0.0

(3) 現在の仕事に就く前の仕事(直前の仕事) 問7③

◆ 全国では、直前の仕事は「介護関係の仕事」が36.5%

(単位:人、%)									
	回答労働者数 (前職あり)	介護関係の仕事					介護以外の福祉関係の仕事	医療関係の仕事	介護以外の福祉・医療関係の仕事
		計	訪問系	通所系	施設系	その他			
北海道	764	38.6	6.5	9.2	19.1	3.8	3.0	12.3	27.9
全国	16,901	36.5	8.2	9.5	15.6	3.2	3.0	12.5	31.0
訪問介護員	2,962	35.8	12.2	7.1	15.2	1.3	3.1	5.0	36.1
介護職員	5,956	33.7	3.9	10.0	18.2	1.6	2.8	5.7	40.3
サービス提供責任者	1,524	41.8	14.2	10.1	15.6	1.9	2.6	4.6	34.6
生活相談員	929	41.8	4.4	17.7	18.0	1.7	4.0	4.3	32.6
看護職員	1,739	21.5	7.2	5.3	7.8	1.2	1.4	54.7	6.8
PT・OT・ST等	335	23.9	5.4	11.9	6.0	0.6	1.8	51.9	10.7
介護支援専門員	2,402	54.1	12.9	11.1	17.1	13.0	4.5	11.3	17.2

(4) ① 直前の仕事が介護関係の仕事であった介護労働者の直前の仕事を辞めた理由〔複数回答〕 問8①

◆ 全国では、「職場の人間関係に問題があったため」が27.3%で最も多い

(単位:人、%)																
	回答労働者数 (直前職が介護関係の仕事)	人員整理・勤奨退職・法人解散・事業不振等のため	他に良い仕事・職場があったため	新しい資格を取ったから	収入が少なかったため	自分の将来の見込みが立たなかったため	自分に向かない仕事だったため	職場の人間関係(注1)に問題があったため	カスタマー・ハラスメント(注2)があったため	勤務先に仕事上の悩み事の相談ができなかったため	勤務先の事業理念や運営のあり方に不満があったため	家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため	定年・雇用契約の満了のため	病気・高齢のため	結婚・妊娠・出産・育児のため	家族の介護・看護のため
北海道	295	7.8	16.9	10.8	14.6	11.9	8.5	26.8	3.7	7.8	20.0	3.7	3.7	4.7	13.6	4.1
全国	6,163	7.5	17.2	10.7	15.7	12.4	6.5	27.3	3.3	7.2	21.0	4.3	2.5	4.0	14.0	4.1
訪問介護員	1,060	8.5	16.1	7.0	17.2	11.2	5.6	29.5	3.7	7.9	21.0	4.1	2.2	4.8	14.4	4.2
介護職員	2,010	8.3	17.4	4.0	16.4	10.9	7.2	30.0	3.6	6.7	20.6	4.3	3.1	4.4	13.9	4.2
サービス提供責任者	637	6.4	18.2	6.3	14.9	16.0	7.2	25.7	2.5	7.5	24.0	5.2	1.9	3.8	14.0	3.9
生活相談員	388	6.7	20.4	8.2	17.0	18.3	7.5	31.4	3.6	9.3	27.6	4.9	1.3	2.1	13.7	2.6
看護職員	374	6.1	20.9	2.9	15.2	7.8	5.9	27.8	4.0	10.7	29.4	7.5	2.1	2.9	11.2	4.0
PT・OT・ST等	80	8.8	18.8	5.0	15.0	16.3	5.0	23.8	1.3	5.0	23.8	1.3	1.3	2.5	13.8	3.8
介護支援専門員	1,300	6.0	14.9	29.7	13.8	13.2	6.1	21.3	2.6	5.2	16.0	3.0	2.8	3.8	14.5	4.6

(注1)「職場の人間関係」とは、上司、同僚、部下・後輩との人間関係をいう。

(注2)「カスタマー・ハラスメント」とは、顧客等(介護の場合は利用者や家族)からの暴行、脅迫、ひどい暴言、不当な要求等の著しい迷惑行為をいう。

② (4)①の理由のうち、「職場の人間関係に問題があったため」の具体的内容〔複数回答〕 問8②

◆ 全国では、「上司や先輩からの指導や言動がきつかったり、パワーハラスメントがあった」が45.8%で最も高い

(単位:人、%)										
	た人へ回 め問や答 関めた 係労働 に者数 問題が 「あ職 った場 たの	たワ言上 ハ動司 ラがや スメか ンつか たの指 がり導 あ、導 っパや	か確上 った、司 ーの業 ダ務指 ー示が ッブ不 が明 な	た悪同 口僚 ・嫌 から のき せつ 等言 があ 動っ・	会職 話場 がで な仕 かつ事 たの こと 以外 の	疎職 外場 感内 ・の 孤仲 独間 感を 感ぜ じや 、	う司仕 まや事 く同の い僚進 かめ なと方 かつに 思関 った疎 た思す 通る が上	を職 受場 けた 人 間 か ら セ ク ハ ラ	たい仕 上事 司に ・対 先し ・て 同やる 僚気 がの いな	が部 難下 し・ か後 っ輩 たに 対 する 指 導
北海道	79	43.0	43.0	30.4	5.1	19.0	46.8	5.1	31.6	11.4
全国	1,680	45.8	37.4	25.0	5.5	16.5	38.0	2.6	26.2	8.3
訪問介護員	313	50.2	38.3	27.2	3.5	16.9	40.9	1.9	28.8	8.3
介護職員	602	44.4	33.6	25.2	5.5	16.3	35.0	2.3	26.6	8.0
サービス提供責任者	164	40.2	35.4	25.0	4.3	15.2	32.9	3.0	29.3	9.8
生活相談員	122	49.2	44.3	20.5	8.2	15.6	49.2	4.9	27.9	13.1
看護職員	104	41.3	45.2	22.1	9.6	13.5	46.2	1.9	26.9	6.7
PT・OT・ST等	*19	*42.1	*36.8	*10.5	*5.3	*26.3	*57.9	*0.0	*15.8	*10.5
介護支援専門員	277	47.7	38.3	23.5	6.5	18.1	35.0	3.2	19.1	6.9

③ (4)①の理由のうち、「勤務先の事業理念や運営のあり方に不満があったため」の具体的内容〔複数回答〕 問8③

◆ 全国では、「介護の質の向上の手法・方向性が自分の考え方とは異なっていた」が34.2%で最も高い

(単位:人、%)									
	が業へ回 あ理や答 っためた た労働 た者数 営理 の由 の「あ あり勤 方務 に先 の満 事	が介 な護 かつ の質 の向 上を させ る姿 勢	て性介 護の自 分の質 の向 上の 手法 ・方 向	い対介 護つて かな職 の質の 向上 の制 や取 組 み 追に	か案仕 つを、 た、管 理理 者者 にに 関関 する 職 員 の 提	て経 いの 効効 率率 性を 過過 度に 重視 し	量無 負担 な業 務が 多く 弱職 員員 のの 業業 務務	組職 み場 をし て人 間 関 係 の 改 善 の 取 り	取マ利 りー用 組・者 みハ をラ しス 族 てメ ン から の カ ス タ ー
北海道	59	35.6	32.2	40.7	35.6	37.3	40.7	25.4	5.1
全国	1,297	33.3	34.2	33.9	31.0	32.1	32.2	25.1	8.2
訪問介護員	223	38.6	30.5	32.7	35.9	33.6	30.9	23.3	8.1
介護職員	415	30.4	32.5	36.6	32.3	28.4	33.3	24.3	8.9
サービス提供責任者	153	30.7	34.6	25.5	26.1	35.3	27.5	24.8	5.9
生活相談員	107	32.7	40.2	34.6	26.2	34.6	37.4	26.2	9.3
看護職員	110	31.8	42.7	38.2	40.9	37.3	26.4	18.2	11.8
PT・OT・ST等	*19	*21.1	*31.6	*47.4	*21.1	*21.1	*42.1	*15.8	*5.3
介護支援専門員	208	36.1	35.1	32.7	26.4	36.5	34.1	30.3	7.2

3 現在勤務している事業所について

(1) 現在の法人に就職した主な経路・経緯 問13

◆ 全国では、「友人・知人からの紹介」が33.8%で最も多い

(単位:人、%)																
	回答労働者数	ハローワーク	福祉人材センター	学校・養成施設等での進路指導	民間の職業紹介	友人・知人からの紹介	求人・就職情報誌	折込チラシ、新聞・雑誌の広告	求人情報サイト	ホームページ	法人又は施設・事業所が発信するSNS	法人又は施設・事業所が就職セミナー、採用説明会	職場体験、職場実習やボランティア	介護職員の養成のための講座・研修を通じて施設・事業所を知った	施設・事業所からの就職の働きかけ	行政広報誌（市報、区報等）
北海道	982	22.7	0.8	4.2	3.9	33.9	3.4	5.7	5.8	1.7	0.2	1.3	1.4	1.4	5.2	0.4
全国	20,675	19.4	1.0	3.4	3.9	33.8	3.4	4.8	9.6	2.2	0.2	1.1	1.0	2.1	4.3	0.5
訪問介護員	3,339	16.3	0.9	1.4	2.9	41.0	3.1	4.3	8.6	1.8	0.1	0.8	0.9	4.5	4.5	0.7
介護職員	7,519	23.4	1.5	5.5	3.6	29.6	4.0	5.5	10.0	1.4	0.2	1.6	1.3	1.8	3.5	0.3
サービス提供責任者	1,739	16.2	0.6	2.0	2.9	39.6	3.4	5.7	7.8	1.6	0.1	1.2	0.7	3.7	4.6	0.9
生活相談員	1,155	20.5	0.6	3.2	2.3	30.0	4.2	5.1	12.6	1.9	0.1	1.6	1.0	1.7	4.8	0.3
看護職員	2,494	16.5	0.8	2.4	8.1	34.2	2.5	3.3	12.0	4.5	0.2	0.4	0.5	0.1	3.9	0.5
PT・OT・ST等	539	15.0	0.6	7.4	3.7	30.4	4.5	1.5	15.0	8.9	0.6	0.7	0.9	0.2	5.0	0.2
介護支援専門員	2,678	17.0	0.8	1.6	4.0	33.9	2.2	4.3	6.5	2.5	0.1	0.7	0.9	1.2	5.8	0.7

(2) 現在の法人に就職した理由〔複数回答〕 問14

◆ 全国では、「通勤が便利だから」が51.8%で最も多い

(単位:人、%)																		
	回答労働者数	地元での評判が良かったため	法人の方針や理念に共感したため	経営が健全で将来的に安定しているため	通勤が便利だから	賃金水準が比較的高いため	時間外労働が少ないため	有給休暇などの各種休暇の取得や勤務日の変更をしやすいため	質の高い介護を学べそうだったため	自分のやりたい介護ができそうだったため	職場の人間関係がよさそうだったため	事業所の設備・環境が働きやすそうだったため	介護技術の導入、業務改善等により業務負担の軽減を図っているため	介護と育児や介護の両立の支援を充実させているため	事業所内でのキャリアアップの道筋を明確化しているため	能力や仕事を処遇に反映しているため	事業所内外での研修機会が充実しているため	理由は特になし
北海道	982	5.9	11.7	13.5	44.8	17.9	17.8	25.7	13.4	31.6	29.1	16.5	1.4	11.4	8.7	12.6	9.2	8.8
全国	20,675	5.7	14.8	12.3	51.8	17.4	18.5	25.3	13.2	34.2	35.1	16.2	1.4	14.2	9.2	14.6	8.4	7.3
訪問介護員	3,339	6.8	14.1	14.6	50.3	19.0	18.8	26.3	16.2	37.2	39.7	17.0	1.3	15.7	11.5	17.6	10.8	7.1
介護職員	7,519	4.7	11.8	9.7	56.7	14.9	17.9	22.5	11.8	32.4	32.5	14.6	1.2	11.5	7.1	12.1	6.6	8.2
サービス提供責任者	1,739	4.8	15.4	15.8	48.5	20.5	13.9	25.1	16.2	37.0	36.9	16.7	1.1	15.7	13.1	18.5	9.5	7.4
生活相談員	1,155	6.9	17.9	12.5	47.7	16.3	18.1	21.6	12.1	38.7	33.1	14.5	0.9	14.4	10.1	19.1	7.1	8.1
看護職員	2,494	5.3	18.6	13.0	52.4	22.1	26.1	26.5	12.3	35.2	39.0	18.2	1.0	21.6	7.9	14.0	8.1	4.7
PT・OT・ST等	539	6.7	23.4	11.3	42.7	26.0	24.9	22.6	10.9	28.4	32.5	17.8	1.1	13.4	7.6	15.0	3.9	5.4
介護支援専門員	2,678	7.6	16.8	14.2	47.2	16.2	15.2	32.8	14.9	32.3	34.1	18.3	2.9	13.0	9.6	13.6	11.7	6.8

4 勤務状況・勤務条件等について

(1) 1週間の残業時間数 問17③

◆ 全国では、「残業なし」は56.3%

(単位:人、%、時間)							
	回答労働者数	残業なし	5時間未満	5～10時間	10～15時間	15時間以上	平均残業時間(時間)
北海道	982	52.1	28.8	10.0	3.7	1.6	1.9
全国	20,675	56.3	26.7	9.9	3.1	1.2	1.7
訪問介護員	3,339	65.1	20.6	7.2	2.4	0.8	1.3
介護職員	7,519	58.1	28.6	7.5	2.0	0.7	1.4
サービス提供責任者	1,739	45.1	29.2	16.7	4.9	1.5	2.5
生活相談員	1,155	41.8	27.9	18.8	7.4	2.7	3.0
看護職員	2,494	49.8	34.2	10.0	2.5	1.0	1.7
PT・OT・ST等	539	48.4	31.4	14.5	4.3	0.8	2.1
介護支援専門員	2,678	59.8	20.9	11.1	3.7	2.0	1.8

(2) ① 年次有給休暇の新規付与日数 問18

◆ 全国では、新規付与日数「20日」が30.8%で最も多い

(単位:人、%、日)									
	回答労働者数	0日	1～4日	5～9日	10～12日	13～15日	16～19日	20日	平均新規付与日数(日)
北海道	982	3.2	1.8	4.8	21.7	7.9	6.7	30.5	15.0
全国	20,675	4.4	1.5	6.2	23.3	7.0	5.0	30.8	14.8
訪問介護員	3,339	5.9	2.0	7.4	22.5	8.0	4.3	24.3	14.0
介護職員	7,519	3.2	1.8	7.4	22.5	6.7	5.1	29.9	14.6
サービス提供責任者	1,739	2.6	0.4	3.7	21.0	6.3	4.8	39.4	15.9
生活相談員	1,155	2.9	1.1	3.6	21.1	7.3	6.4	38.7	15.8
看護職員	2,494	5.1	1.7	7.0	29.4	7.3	4.5	26.3	14.0
PT・OT・ST等	539	3.7	0.9	3.2	31.5	10.4	7.8	31.4	14.8
介護支援専門員	2,678	7.2	1.0	3.6	22.5	5.9	5.1	34.9	15.5

② 年次有給休暇の取得日数 問18

◆ 全国では、取得日数「5～9日」が37.7%で最も多く、平均取得日数は7.8日

(単位:人、%、日)											
	回答労働者数	0日	1～4日	5～9日	10～12日	13～15日	16～19日	20日	21日以上	平均取得日数(日)	平均取得率(%)
北海道	722	5.5	20.1	35.9	20.1	7.3	3.2	4.3	0.7	7.7	51.0
全国	15,232	6.1	17.8	37.7	19.7	6.6	3.5	5.4	0.7	7.8	52.9
訪問介護員	2,284	7.0	19.1	38.7	17.7	6.3	3.4	3.7	0.7	7.4	52.3
介護職員	5,519	6.0	18.1	40.3	18.7	5.8	2.9	5.1	0.6	7.6	51.9
サービス提供責任者	1,315	5.9	17.1	39.1	20.7	5.9	2.9	4.9	1.2	7.8	48.7
生活相談員	904	4.2	15.5	37.4	20.0	8.0	4.4	7.0	0.6	8.5	53.5
看護職員	1,901	6.8	17.8	32.3	22.4	7.5	4.8	5.8	0.4	8.2	58.3
PT・OT・ST等	459	4.6	17.4	34.9	25.3	5.9	4.8	5.0	1.5	8.5	57.0
介護支援専門員	1,955	5.5	16.9	36.0	20.5	7.6	3.7	7.0	0.7	8.3	53.4

(3)① 深夜勤務の状況 問19①②

◆ 全国では、深夜勤務があるうち、「5回以上7回未満」が37.8%で最も多い

(単位:人、%、回)

	回答労働者数	深夜勤務がある	深夜勤務の回数(1ヵ月当たり)							深夜勤務はない
			3 1 回 回 未 以 満 上	5 3 回 回 未 以 満 上	7 5 回 回 未 以 満 上	9 7 回 回 未 以 満 上	1 9 回 回 未 以 満 上	1 1 回 回 未 以 満 上	平均深夜勤務 回数(回)	
北海道	982	33.8	10.2	20.5	38.0	19.0	3.9	3.0	5.4	63.4
全国	20,675	24.8	10.1	23.3	37.8	14.3	4.3	1.9	5.3	72.0
訪問介護員	3,339	14.6	13.9	22.3	29.7	11.7	5.9	5.7	5.5	81.9
介護職員	7,519	47.4	6.5	23.8	42.4	16.2	4.5	1.3	5.4	49.7
サービス提供責任者	1,739	14.0	22.1	23.8	20.9	9.0	2.5	2.5	4.7	83.4
生活相談員	1,155	10.5	19.8	28.1	25.6	2.5	1.7	1.7	4.4	86.4
看護職員	2,494	13.7	22.8	17.3	26.0	12.3	5.6	2.3	4.9	82.1
PT・OT・ST等	539	1.9	*10.0	*10.0	*30.0	*10.0	*0.0	*0.0	*5.0	94.8
介護支援専門員	2,678	5.5	17.7	26.5	29.9	8.8	1.4	0.7	4.4	91.8

(注)「深夜勤務の回数(1ヵ月当たり)」は、「深夜勤務がある」を100とした数値

② 仮眠・休憩の状況 問19③

◆ 全国では、「十分とれる」は16.3%

(単位:人、%)

	回答労働者数	十分とれる	ある程度とれる	とれない
北海道	332	12.3	47.3	35.8
全国	5,128	16.3	50.8	25.2
訪問介護員	489	29.2	46.0	17.0
介護職員	3,565	13.1	52.5	28.7
サービス提供責任者	244	20.9	46.3	17.2
生活相談員	121	17.4	50.4	11.6
看護職員	342	28.7	51.8	8.5
PT・OT・ST等	*10	*10.0	*40.0	*30.0
介護支援専門員	147	12.9	44.9	30.6

(注)「深夜勤務がある」と答えた人が回答対象

(4) 賃金

① 時間給の単価 問20②

◆ 全国では時間給の労働者の平均は1,321円、北海道では時間給の平均は1,255円

(単位:人、%、円)

	回答労働者数	1 0 0 0 円 未満	1 1 0 0 円 未満	1 1 2 1 円 未満	1 1 3 2 円 未満	1 1 4 3 円 未満	1 1 5 4 円 未満	1 1 7 5 円 未満	2 1 0 7 円 未満	2 2 5 0 円 未満	3 2 0 5 円 未満	3 0 0 0 円 以上	平均時間給(円)
北海道	228	0.4	29.8	17.1	18.4	10.1	6.6	10.1	2.2	0.4	0.0	0.4	1,255
全国	5,361	4.1	17.8	15.0	17.4	11.3	7.3	12.3	5.6	3.4	0.4	0.5	1,321
訪問介護員	1,223	2.5	13.7	12.0	18.9	14.0	10.2	15.6	6.5	2.2	0.1	0.2	1,339
介護職員	2,423	6.4	25.2	20.6	20.4	9.8	4.5	4.8	1.5	0.6	0.2	0.2	1,203
サービス提供責任者	198	1.0	12.1	11.6	16.2	12.6	13.1	18.2	8.1	5.1	0.5	0.0	1,384
生活相談員	151	5.3	15.9	13.9	20.5	12.6	9.3	10.6	1.3	6.0	0.7	0.0	1,312
看護職員	678	0.6	2.8	4.7	5.9	10.6	9.0	27.3	18.1	14.6	1.6	2.1	1,645
PT・OT・ST等	62	0.0	6.5	4.8	24.2	6.5	6.5	24.2	17.7	3.2	1.6	4.8	1,583
介護支援専門員	293	1.0	9.9	7.8	11.6	17.7	10.9	24.9	7.8	4.4	0.7	0.0	1,414

② 通常月の税込み月収(賃金支払形態が月給の者) 問20③

◆ 全国の平均は254,951円、北海道の平均は244,386円

(単位:人、%、円)

	回答労働者数	3 万 円 未満	3 5 万 円 未満	5 8 万 円 未満	8 1 0 万 円 未満	1 0 1 3 万 円 未満	1 3 1 5 万 円 未満	1 5 1 8 万 円 未満	1 8 2 0 万 円 未満	2 0 2 3 万 円 未満	2 3 2 5 万 円 未満	2 5 2 8 万 円 未満	2 8 3 0 万 円 未満	3 0 3 5 万 円 未満	3 5 4 0 万 円 未満	4 0 万 円 以上	平均月収(円)
北海道	681	0.6	0.1	0.0	0.0	0.3	0.9	6.5	9.8	23.5	11.2	17.0	6.3	12.2	4.6	1.9	244,386
全国	13,685	0.8	0.2	0.2	0.3	0.4	0.8	5.3	6.9	18.2	11.0	16.6	7.6	15.0	6.1	3.6	254,951
訪問介護員	1,847	1.2	0.3	0.7	0.5	0.6	1.3	7.4	7.5	20.6	11.6	16.4	7.4	11.3	3.8	2.4	239,756
介護職員	4,541	0.8	0.1	0.1	0.2	0.3	1.2	7.6	10.1	21.4	12.0	15.9	6.6	11.5	3.7	1.7	239,855
サービス提供責任者	1,415	0.8	0.1	0.1	0.1	0.2	0.8	3.7	5.1	17.9	9.8	19.1	7.5	17.3	7.2	3.7	263,280
生活相談員	923	1.2	0.1	0.2	0.1	0.3	0.1	4.3	7.0	18.7	11.8	18.0	8.8	13.9	6.1	1.8	252,994
看護職員	1,610	0.4	0.2	0.0	0.2	0.4	0.2	1.8	3.2	9.9	8.4	13.9	8.3	23.4	12.5	9.8	293,318
PT・OT・ST等	450	0.4	0.9	0.0	0.2	0.0	0.0	1.1	2.0	13.8	7.6	20.4	11.8	23.6	8.2	5.8	281,174
介護支援専門員	2,128	0.7	0.3	0.4	0.8	0.6	0.4	3.5	4.5	16.3	12.0	18.4	8.9	16.4	6.7	3.2	259,950

5 働く上での悩みや意識

(1) ① 労働条件・仕事の負担についての悩み、不安、不満等〔複数回答〕 問22①

◆ 全国では、「人手が足りない」が52.3%で最も多い

(単位:人、%)																				
	回答労働者数	雇用が不安定である	人手が足りない	仕事内容のわりに賃金が低い	労働時間が不規則である	労働時間が長い	不払い残業がある・多い	休憩が取りにくい	有給休暇が取りにくい	精神的にきつい	業務に対する社会的評価が低い	資格取得やケアの専門性向上の支援がない	リーダーや管理職への昇進の機会がない	昇給がない、少ない	夜間や深夜時間帯に何か起きるのではないかと不安がある	介護業務と医療行為の境目が分かりにくいため不安がある	身体的負担が大きい	健康面（新型コロナウイルス等の感染症、怪我）の不安がある	福祉機器の不足、機器操作の不慣れ、施設の構造に不安がある	労働条件・仕事の負担について特に悩み、不安、不満等を感じていない
北海道	982	5.8	56.9	37.6	8.6	7.7	3.6	16.7	17.9	21.0	18.0	6.3	3.2	27.2	18.9	7.7	25.4	15.6	9.7	13.1
全国	20,675	6.3	52.3	38.1	8.1	7.1	3.2	16.4	17.3	19.6	19.5	5.8	2.8	29.9	13.0	7.2	23.9	18.5	8.1	13.0
訪問介護員	3,339	5.8	52.9	32.5	10.4	6.0	1.8	15.2	17.8	13.6	20.5	4.6	1.9	24.2	5.6	7.2	22.0	21.1	3.2	16.0
介護職員	7,519	7.2	62.4	44.7	10.6	7.8	3.6	17.5	19.8	21.8	20.4	6.8	3.5	33.7	21.0	10.4	34.1	22.7	13.9	9.6
サービス提供責任者	1,739	6.3	65.4	35.8	9.9	9.5	3.0	19.6	20.9	18.0	23.4	4.8	2.6	26.2	6.8	6.2	20.5	18.6	4.1	10.2
生活相談員	1,155	7.9	54.9	39.1	4.0	9.8	4.4	20.0	19.7	21.0	17.1	6.2	2.8	30.9	4.4	4.3	18.9	15.3	8.0	13.2
看護職員	2,494	6.3	42.7	28.2	5.1	6.0	3.7	16.6	15.0	16.7	9.8	5.1	1.8	27.3	17.2	6.5	22.4	14.7	6.1	15.3
PT・OT・ST等	539	7.6	45.5	29.9	2.6	4.6	3.7	17.8	21.9	14.5	11.7	6.5	4.3	36.5	1.1	4.6	16.7	11.9	6.7	12.2
介護支援専門員	2,678	3.8	25.0	39.9	3.0	5.1	3.2	11.5	8.4	26.7	25.0	6.0	2.4	30.4	8.6	2.5	7.8	11.8	3.7	16.6

② 職場でのハラスメント〔複数回答〕 問22②

◆ 全国では、「過去1年間で仕事中に職場内で左記のようなハラスメントを受けたことはない」は75.7%

(単位:人、%)								
	回答労働者数	攻撃・暴行・傷害(身体的なもの)	脅迫・名誉毀損・精神的な攻撃(精神的なもの)	切り離し・関係からの断絶(精神的なもの)	視・聴・触・嗅・味・触覚・その他(身体的なもの)	隔離・人権侵害・その他(身体的なもの)	業務上の要求・業務上の指示・業務上の評価・業務上のその他(業務上のもの)	業務上の要求・業務上の指示・業務上の評価・業務上のその他(業務上のもの)
北海道	982	0.3	6.8	3.4	4.0	1.1	3.7	75.8
全国	20,675	0.2	7.0	3.4	3.3	1.1	3.2	75.7
訪問介護員	3,339	0.3	5.1	2.4	2.1	1.0	2.8	78.0
介護職員	7,519	0.3	7.8	4.1	3.4	1.0	3.9	75.3
サービス提供責任者	1,739	0.2	7.6	3.5	2.8	1.3	2.9	76.8
生活相談員	1,155	0.7	7.9	3.4	5.5	1.6	2.4	74.8
看護職員	2,494	0.2	6.8	2.8	3.3	1.4	2.9	74.7
PT・OT・ST等	539	0.0	4.5	2.8	4.6	1.9	3.0	80.7
介護支援専門員	2,678	0.1	6.8	3.3	3.4	1.0	3.1	73.9

③ 利用者やその家族からのセクハラ、暴力等〔複数回答〕 問22③

◆ 全国では、「仕事中に利用者やその家族から左記のような経験をしたことはない」は55.8%

(単位:人、%)						
	回答労働者数	セクハラ(性的嫌がらせ)	暴力	暴言(直接的な言葉)	介護保険以外のサービスの提供	左記のような経験をしたことはない
北海道	982	7.1	9.5	20.4	13.5	58.9
全国	20,675	8.4	9.5	22.6	15.3	55.8
訪問介護員	3,339	8.4	6.3	21.8	24.3	52.6
介護職員	7,519	9.3	17.0	24.3	5.6	59.3
サービス提供責任者	1,739	9.3	6.0	23.5	26.5	51.1
生活相談員	1,155	6.6	6.7	18.4	11.0	62.5
看護職員	2,494	12.3	5.9	22.5	10.4	56.5
PT・OT・ST等	539	8.0	4.5	17.1	10.4	66.8
介護支援専門員	2,678	3.8	2.1	23.9	32.6	44.3

(2) 仕事に関する意識 問23

◆ 全国では、(そう思う+ややそう思う)の割合は「上司や同僚がサポートしてくれる職場で働きたい」で83.8%と最も高い

(単位:人、%)											
そう思う +ややそう思う の割合	回答労働者数	管理職・リーダー 責任をとる仕事をしたい	管理職・リーダー 指導をする仕事をしたい	いつまでも現場で専門性を発揮したい	自分の価値観やポリシー を持って仕事に取り組みたい	仕事について自分の考え方 にあっている	上司や同僚との人間関係が いい職場でない	上司や同僚がサポートしてく れる職場で働きたい	自分の介護の能力・専門性 を高めたい	金銭的報酬よりも、仕事への やりがいのほうが重要である	利用者の役に立つ仕事がしたい
北海道	982	14.3	13.6	53.2	69.5	75.3	64.7	84.4	70.3	21.9	79.1
全国	20,675	17.2	15.3	54.0	71.2	76.7	67.6	83.8	74.2	22.8	81.2
訪問介護員	3,339	14.3	12.3	51.3	66.9	73.8	64.5	82.8	73.5	24.3	80.5
介護職員	7,519	14.9	13.9	50.0	68.8	77.1	67.9	85.6	72.8	20.3	79.8
サービス提供責任者	1,739	27.2	25.6	53.7	70.3	77.6	67.1	84.2	78.2	26.1	81.7
生活相談員	1,155	29.6	26.5	54.4	75.1	79.1	66.2	83.0	75.1	24.9	81.8
看護職員	2,494	12.6	11.2	64.6	77.8	81.8	74.3	87.3	76.6	22.6	86.0
PT・OT・ST等	539	26.1	22.7	69.6	83.0	82.8	70.0	84.4	78.8	21.6	88.3
介護支援専門員	2,678	15.4	12.4	59.8	74.1	72.4	66.6	78.2	77.0	23.5	81.2

6 仕事と育児・家族介護の両立

(1) ① 現在の育児、家族介護の状況〔複数回答〕 問25①

◆ 全国では、「育児をしている」が18.7%、「家族介護をしている」は12.5%

(単位:人、%)				
	回答労働者数	育児 をしている	家族 介護を してい る	い ずれ も ない
北海道	982	17.8	10.6	67.7
全国	20,675	18.7	12.5	63.8
訪問介護員	3,339	15.5	13.7	65.6
介護職員	7,519	18.2	11.4	66.3
サービス提供責任者	1,739	17.1	15.6	61.9
生活相談員	1,155	21.3	10.4	64.2
看護職員	2,494	27.5	10.9	56.6
PT・OT・ST等	539	35.4	5.4	57.9
介護支援専門員	2,678	13.1	16.3	64.4

② 今後5年間の可能性〔複数回答〕 問25②

◆ 全国では、「家族介護をする可能性がある」は50.2%

(単位:人、%)				
	回答労働者数	可 能 性 が あ る	可 能 性 が あ る 可 能 性 が あ る	可 能 性 が あ る 可 能 性 が あ る
北海道	982	13.3	47.1	36.5
全国	20,675	15.7	50.2	30.3
訪問介護員	3,339	12.5	48.8	33.6
介護職員	7,519	16.2	49.2	31.5
サービス提供責任者	1,739	13.1	53.1	28.9
生活相談員	1,155	16.5	53.9	28.7
看護職員	2,494	22.4	50.0	25.2
PT・OT・ST等	539	42.9	38.6	24.1
介護支援専門員	2,678	8.6	55.8	29.5

(2) 現在の職場で家族介護をしながら仕事を続けることができると思うか 問24③

◆ 全国では、「続けられないと思う」が16.2%、「おそらく続けられないと思う」が22.4%

(単位:人、%)						
	回答労働者数	続 け ら れ る と 思 う	と お そ う く 続 け ら れ る	い お そ う く 続 け ら れ な い	続 け ら れ な い と 思 う	わ か ら な い
北海道	982	11.4	28.6	25.5	20.4	12.5
全国	20,675	11.8	35.7	22.4	16.2	11.9
訪問介護員	3,339	16.0	37.2	19.8	12.6	12.4
介護職員	7,519	8.0	32.6	24.1	19.4	14.1
サービス提供責任者	1,739	13.7	38.1	22.3	14.4	9.5
生活相談員	1,155	10.2	37.7	22.8	17.3	10.7
看護職員	2,494	10.5	34.3	24.0	16.9	12.2
PT・OT・ST等	539	8.7	36.9	25.2	16.5	10.8
介護支援専門員	2,678	17.5	39.7	19.8	12.6	8.0

7 勤務先の取り組み

(1) ① 勤務先で行われているもの〔複数回答〕 問21①

◆ 全国では、「有給休暇等の各種休暇の取得や勤務日時の変更をしやすい職場づくり」が64.1%で最も多い

② 職場を辞めずに働き続けることに役立っているもの〔複数回答〕 問21②

◆ 全国では、「有給休暇等の各種休暇の取得や勤務日時の変更をしやすい職場づくり」が65.5%で最も多い

(単位:人、%)

	回答事業所数	賃金水準の向上	時間外労働の削減	有給休暇等の各種休暇の取得や勤務日時の変更をしやすい職場づくり	本人の希望や人間関係などに配慮した配置・異動	介護の質の向上（注）を図るための価値観や行動基準の共有	現場の裁量による創意工夫を尊重するマネジメント	人間関係が良好な職場づくり	職場内での仕事上のコミュニケーションの円滑化（面談、ミーティング、意見交換会など）	仕事外での職員間の交流の機会の設定	悩み、不満、不安などを上司以外に相談できる担当者・相談窓口の設置	事業所の設備・環境を働きやすいものに改善	介護テクノロジー（ロボット・ICT機器等）の導入、業務改善等による業務負担の軽減	健康対策や健康管理の充実	仕事と育児や介護の両立支援	託児所設置や保育費用支援等	利用者やその家族からのカスタマーハラスメントから守る取り組み	事業所内でのキャリアアップの道筋の明確化	能力や仕事ぶりを処遇に反映	事業所内外で研修機会の充実	地域活動への事業所としての参加	特に取り組みは行われていない
① 行われているもの																						
北海道	982	39.6	45.0	65.3	38.6	41.8	28.9	54.6	51.4	24.6	32.3	34.2	19.5	31.6	35.1	6.0	25.3	22.6	30.7	38.4	22.1	6.2
全国	20,675	38.9	49.5	64.1	38.5	46.1	30.6	56.7	54.7	27.2	35.8	35.0	18.7	35.2	39.5	8.3	29.6	25.7	33.1	40.1	23.0	5.0
訪問介護員	3,339	44.5	46.8	62.3	45.1	52.8	31.7	61.3	58.6	29.1	39.5	36.7	14.6	40.0	38.5	8.2	36.4	29.6	38.1	42.2	17.5	3.4
介護職員	7,519	36.0	48.6	61.2	37.7	45.5	27.6	52.1	50.6	24.3	33.4	31.5	19.1	31.4	37.2	8.0	24.4	24.1	30.9	38.3	24.8	5.2
サービス提供責任者	1,739	50.6	53.9	68.1	44.3	52.8	34.2	64.3	62.4	31.1	44.2	39.6	17.7	41.6	42.8	8.0	38.5	32.7	42.8	45.9	19.1	3.5
生活相談員	1,155	42.4	55.8	64.8	42.0	48.1	35.1	59.6	55.8	29.6	38.7	38.0	21.8	36.9	43.5	9.8	31.2	28.3	39.1	38.2	24.6	4.6
看護職員	2,494	34.4	53.6	67.8	37.8	43.7	32.8	61.8	59.7	30.9	36.0	36.8	20.7	35.2	46.0	10.9	31.9	23.2	28.3	39.7	23.6	4.9
PT・OT・ST等	539	39.7	57.5	64.9	33.6	42.5	34.0	54.4	54.7	27.6	31.9	38.4	21.3	29.7	45.8	10.4	31.7	21.0	33.8	30.2	23.0	4.3
介護支援専門員	2,678	32.5	43.0	66.5	26.6	36.0	29.4	51.9	49.8	24.6	30.5	33.9	19.2	34.6	34.2	5.8	25.7	21.7	25.8	41.4	24.3	8.1

② 働き続けることに役立っているもの

「行われている」に占める「働き続けることに役立っている」とする事業所の割合

北海道	880	59.6	45.7	65.2	49.6	44.4	45.8	66.6	47.7	50.8	44.5	44.0	39.8	37.1	41.7	49.2	37.5	37.4	47.5	32.9	28.6
全国	18,890	56.8	46.6	65.5	51.8	42.3	44.4	65.4	49.4	42.3	43.5	45.3	42.6	42.4	48.5	43.6	38.6	38.9	50.7	36.5	29.2
訪問介護員	3,088	57.3	45.6	64.1	54.7	46.5	45.9	65.5	51.4	43.6	46.7	45.9	41.1	44.4	50.1	44.9	43.8	39.6	52.2	38.5	30.8
介護職員	6,848	56.5	44.1	64.3	50.3	38.9	41.6	65.6	46.0	40.0	40.4	43.0	41.2	40.2	46.4	44.1	34.1	38.1	48.6	32.7	25.8
サービス提供責任者	1,633	55.7	44.2	60.4	47.7	42.4	42.5	61.1	47.2	42.2	41.8	46.1	41.4	41.9	44.3	43.9	38.3	36.3	50.9	34.5	36.0
生活相談員	1,063	55.5	45.0	60.4	50.3	40.9	44.9	62.2	46.1	40.4	40.7	46.2	39.3	34.7	42.9	45.1	33.3	41.0	49.6	36.5	35.9
看護職員	2,291	55.5	52.1	67.5	51.2	43.7	44.3	66.7	51.5	41.9	46.3	43.2	43.9	41.8	54.8	39.0	39.1	36.7	49.6	38.1	24.5
PT・OT・ST等	499	56.1	51.9	70.0	52.5	37.1	42.1	65.9	46.4	45.6	41.3	39.1	40.0	35.0	48.6	44.6	32.7	37.2	54.4	32.5	26.6
介護支援専門員	2,370	61.3	50.9	73.7	56.5	48.0	52.7	70.0	58.1	45.7	48.8	54.5	50.5	50.2	53.6	46.1	46.3	44.4	55.7	44.9	35.7

8 勤務先への評価について

(1) 今の仕事や職場の「働きやすさ」 問26

◆ 全国では、（今の仕事や職場は「働きやすい」と思うか）について「そう思う」は29.8%、「ややそう思う」は37.7%

(単位:人、%)

	回答労働者数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
北海道	982	29.0	35.0	21.0	7.1	4.0
全国	20,675	29.8	37.7	18.2	6.3	2.9
訪問介護員	3,339	35.1	37.6	15.1	5.0	1.9
介護職員	7,519	24.7	38.6	20.8	8.0	3.7
サービス提供責任者	1,739	30.5	38.7	17.4	5.4	2.3
生活相談員	1,155	28.9	38.1	19.4	6.6	2.9
看護職員	2,494	31.4	36.6	17.9	6.1	2.8
PT・OT・ST等	539	28.9	44.3	16.5	6.1	2.0
介護支援専門員	2,678	35.0	35.8	15.7	4.7	2.4

(2) 今の仕事や職場の「働きがい」 問27

◆ 全国では、（今の仕事や職場は「働きがい」があると思うか）について「そう思う」は24.6%、「ややそう思う」は38.6%

(単位:人、%)

	回答労働者数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
北海道	982	23.5	35.2	26.0	7.2	4.1
全国	20,675	24.6	38.6	21.9	6.6	3.2
訪問介護員	3,339	30.4	37.9	19.3	4.9	2.0
介護職員	7,519	18.6	38.2	25.9	8.8	4.2
サービス提供責任者	1,739	28.1	38.6	19.9	5.1	2.5
生活相談員	1,155	24.6	41.6	21.0	5.7	3.1
看護職員	2,494	28.9	39.1	18.1	6.0	2.5
PT・OT・ST等	539	23.6	49.0	16.9	6.9	1.5
介護支援専門員	2,678	27.0	38.2	20.0	5.0	3.2

(3) 今の仕事や職場にあてはまること 問28

◆ 全国では、「利用者や家族から感謝される」が60.7%で最も高い

(単位:人、%)																					
	回答労働者数	福祉に貢献できる	利用者の援助・支援や生活改善につながる	利用者や家族から感謝される	仕事に誇りを持てる	専門性が発揮できる	業務改善の機会がある	自分が成長している実感がある	仕事が楽しい	期待される役割が明確である	目標にしたい先輩・同僚がいる	法人（事業所）や上司から働きぶりが評価される	資格取得やケアの専門性向上の機会がある	リーダーや管理職への昇進の機会がある	昇給がある	生計を立てていく見込みがある	収入が安定している	日頃から有給休暇が取りやすい	勤務日時の急な変更に対応してくれる	突然の時間外勤務がない	いずれもあてはまらない
北海道	982	33.2	55.9	58.1	34.0	29.9	18.1	19.2	28.2	16.8	14.0	13.2	13.1	8.9	17.4	14.6	30.7	34.6	44.6	16.5	5.8
全国	20,675	38.5	56.7	60.7	37.4	34.7	16.5	21.6	27.3	17.6	14.0	13.1	13.2	9.3	16.6	12.6	28.0	31.5	43.4	17.6	3.7
訪問介護員	3,339	39.0	59.5	62.4	39.4	30.5	12.4	22.7	28.1	16.5	14.6	13.9	12.3	8.4	15.5	10.9	23.8	26.6	42.4	19.1	3.5
介護職員	7,519	35.0	49.2	57.1	31.7	23.8	17.6	19.6	26.2	13.7	14.5	12.4	13.6	10.1	17.8	10.4	25.2	30.4	45.4	18.3	4.5
サービス提供責任者	1,739	41.8	59.6	64.3	42.6	38.1	18.9	24.3	27.0	20.2	14.0	14.9	14.1	13.2	19.1	15.7	33.1	27.1	40.2	13.3	2.9
生活相談員	1,155	41.2	56.4	67.6	37.9	31.3	18.4	23.3	28.9	21.8	10.6	18.2	11.5	12.2	19.5	12.5	27.0	28.7	37.7	18.8	3.8
看護職員	2,494	36.8	66.4	65.8	47.0	47.6	17.1	21.7	33.8	19.9	18.0	11.7	9.5	6.8	15.0	15.1	33.9	34.2	48.4	15.9	2.6
PT・OT・ST等	539	46.2	72.9	72.5	41.7	59.7	21.2	22.6	30.2	27.6	14.3	15.6	10.4	12.4	20.0	19.1	36.9	37.8	39.9	29.5	2.0
介護支援専門員	2,678	43.5	62.7	57.4	37.6	54.0	13.3	23.5	21.5	19.6	11.1	10.0	16.7	5.7	12.5	15.2	31.1	40.4	40.7	14.5	3.5

(4) 現在の仕事の満足度 問29

◆ 全国では、(満足+やや満足)の割合は「職場の人間関係」で49.5%と最も高い

(単位:人、%)															
満足+やや満足の割合	回答労働者数	仕事の内容	賃金水準	労働時間・休日等の労働条件	人員配置体制	仕事と育児や介護の両立	人事評価のあり方	職場の人間関係	仕事上の相談の環境	仕事関係の情報共有	雇用の安定性	仕事のための設備・機器・用具類	休憩室などの付帯設備	教育訓練・能力開発の機会	職業生活全体
北海道	982	42.7	28.7	41.2	20.4	25.1	21.0	47.6	46.2	43.0	39.4	27.0	20.9	19.8	27.4
全国	20,675	44.5	25.4	38.3	20.8	25.8	21.2	49.5	45.2	44.3	36.9	24.3	20.8	19.4	27.2
訪問介護員	3,339	48.1	30.7	39.5	23.4	27.1	25.5	54.0	51.2	50.9	40.0	28.5	23.9	22.1	30.0
介護職員	7,519	37.6	19.9	34.5	15.1	21.2	17.6	45.6	40.7	37.6	32.4	18.1	17.4	15.5	22.0
サービス提供責任者	1,739	48.3	31.0	36.2	17.3	25.2	23.1	51.7	46.1	47.4	39.0	25.4	22.2	19.5	28.6
生活相談員	1,155	47.0	25.1	36.8	19.2	24.1	22.9	49.3	46.7	44.9	36.3	20.8	20.3	17.8	28.7
看護職員	2,494	48.2	29.6	38.5	24.8	32.0	23.6	54.9	49.7	49.5	39.8	29.3	25.2	23.5	31.6
PT・OT・ST等	539	55.7	28.6	51.0	26.2	32.6	24.3	52.5	47.7	48.6	43.8	29.7	26.0	23.0	37.5
介護支援専門員	2,678	49.4	26.1	46.2	31.7	30.5	20.9	48.2	45.4	47.1	41.1	31.0	20.8	23.1	30.1

(5) ① 仕事(職種)の今後の希望 問30①

◆ 全国では、「今の仕事(職種)を続けたい」が55.9%で最も多い

(単位:人、%)						
	回答労働者数	今の仕事(職種)を続けたい	今の仕事(職種)ではない、介護関係の仕事(職種)に就きたい	今の仕事(職種)ではない、福祉・医療関係の仕事(職種)に就きたい	介護・福祉・医療関係以外の仕事(職種)に就きたい	わからない
北海道	982	52.3	4.3	3.1	7.1	22.7
全国	20,675	55.9	4.3	2.9	5.6	20.1

② 今の事業所での就労継続意向 問30②

◆ 全国では、「今の事業所で働き続けたい」が51.9%で最も多い

(単位:人、%)					
	回答労働者数	今の事業所で働き続けたい	今の法人内の別の事業所に転職したい	別の法人や企業などに転職したい	わからない
北海道	942	48.6	1.2	11.9	30.7
全国	20,043	51.9	1.8	9.5	27.5

I 調査の概要

1 調査対象

(1) 「事業所における介護労働実態調査」は、全国の介護保険サービス事業を実施する事業所のうちから無作為抽出(18,000事業所)し、アンケート調査を実施した。

うち、実効調査事業所数は16,854事業所で、有効回答数は8,955事業所、有効回答率53.1%(令和6年度は52.9%)

(2) 「介護労働者の就業実態と就業意識調査」は、上記の事業所において、一事業所あたり介護に関わる労働者3名を上限に選出を依頼し、アンケート調査を実施した。

うち、想定配布数は50,562人で、有効回答数は20,675人、有効回答率40.9%(令和6年度は41.6%)

2 調査対象期日

原則として令和7年10月1日現在とした。

3 調査実施期間

令和7年10月1日～10月31日まで。

「事業所における介護労働実態調査」と「介護労働者の就業実態と就業意識調査」を同時に実施した。

4 調査の方法

・「事業所調査」… 上記1(1)の事業所に対し、調査票を郵送にて配付し、郵送またはEメールにより回収した。

調査実施期間終了後、回答のない事業所に対し、提出確認のはがきを2回送付した。

・「労働者調査」… 上記事業所に労働者調査票3通を同送し、介護サービス種類別に指定した職種の者3名を選出してもらい、調査への協力を依頼した。なお、1事業所の割り当てが3名のため、主たる職種を指定しており、就業形態が偏る場合は、就業形態の指定をしている。回収については、回答者から直接、郵送にて回収した。

5 調査研究体制

【令和7年度介護労働実態調査等検討委員会】(※委員所属は令和8年3月末現在)

座長	佐藤 博樹	東京大学 名誉教授
	大木 栄一	玉川大学 経営学部 教授
	坂爪 洋美	法政大学 キャリアデザイン学部 教授
	松下 洋三	一般社団法人全国介護事業者協議会 副理事長
	菅野 雅子	茨城キリスト教大学 経営学部 准教授
	高野 龍昭	東洋大学 福祉社会デザイン学部 教授
	山田 剛	一般社団法人日本介護支援専門員協会 常任理事
	仙田 亮	厚生労働省 職業安定局総務課 人材確保支援総合企画室長
	藤澤 勝博	公益財団法人介護労働安定センター 理事長

【令和7年度介護労働実態調査諮問委員会】(※委員所属は令和8年3月末現在)

座長	佐藤 博樹	東京大学 名誉教授
	山越 圭祐	一般社団法人全国介護事業者協議会 理事
	西山 宏二郎	公益社団法人全国老人福祉施設協議会 介護人材対策委員会副委員長
	三根 浩一郎	公益社団法人全国老人保健施設協会 副会長
	安藤 恵子	一般社団法人全国介護付きホーム協会 監事
	小林 由憲	一般社団法人日本在宅介護協会 副会長
	田中 雅子	社会福祉法人富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ 教授
	仙田 亮	厚生労働省 職業安定局総務課 人材確保支援総合企画室長
	藤澤 勝博	公益財団法人介護労働安定センター 理事長

Ⅱ 本調査における用語の定義等

1 調査で使用された主な用語の定義

(1) 就業形態について

- ① 「無期雇用職員」とは、本調査では、労働時間にかかわらず雇用期間の定めがない者をいう。
- ② 「有期雇用職員」とは、本調査では、無期雇用職員以外の労働者をいう。(派遣労働者、委託業務従事者を除く)

(2) 職種について

訪問介護員とは、介護保険法の指定を受けた訪問介護事業所で働き、高齢者等の家庭を訪問して家事等の生活援助、入浴などの身体介護を行う者をいう。

介護職員とは、訪問介護以外の介護保険の指定介護事業所で働き、直接介護を行う者をいう。

(3) 介護サービス系型区分について

本調査では、主な介護サービスの種類を下記の介護サービス系型に区分した。

(詳細については、結果報告書の「主な用語の定義」を参照されたい)

- ・訪問系
- ・施設系(入所型)
- ・施設系(通所型)
- ・居住系
- ・居宅介護支援
- ・その他

(4) 採用率、離職率は下記の式による

$$\text{1年間の採用率} = \frac{\text{令和7年度採用者数}^{(注1)}}{\text{令和6年10月1日の在籍者数}^{(注2)}} \times 100$$

$$\text{1年間の離職率} = \frac{\text{令和7年度離職者数}^{(注1)}}{\text{令和6年10月1日の在籍者数}^{(注2)}} \times 100$$

$$\text{1年間の増加率} = \frac{\text{令和7年度(採用者数－離職者数)}^{(注1)}}{\text{令和6年10月1日の在籍者数}^{(注2)}} \times 100$$

(注1) 令和7年度とは、令和6年10月1日から令和7年9月30日までをいう

(注2) 在籍者数：採用者数・離職者数について回答のあった事業所の在籍者数

(5) その他の用語の定義については、各結果報告書の「主な用語の定義」を参照されたい。

<公益財団法人介護労働安定センターの概要>

- ・公益財団法人介護労働安定センターは、介護労働に係る総合支援機関として平成4年4月に設立され、同年7月に「介護労働者の雇用管理の改善等に関する法律(介護労働者法)」に基づく指定法人として指定された公益法人です。
- ・わが国高齢社会の進展に伴う介護労働力の需要増大を踏まえ、介護労働者の雇用管理の改善、能力の開発・向上、その他の福祉の向上を図るとともに、魅力ある職場づくりのための様々な支援事業、さらには、介護事業者を含む介護分野全般における総合的支援事業を展開しています。

— 私たちの理念 —

介護を未来にわたって支えるため、働きやすい、働きがいのある職場づくりに貢献します。